

令和6年6月19日

報道機関各位

長岡市立中央図書館長



～ふるさとのあゆみを学び、伝え、<sup>きわ</sup>究める～

## 歴史文書館開館1周年記念講演会を開催！

市の歴史に関する文書の保存や調査・研究の相談などを行う「<sup>れきしぶんしょかん</sup>歴史文書館」は、7月1日に開館1周年を迎えます。これを記念して、開館1周年記念講演会（第4回れきぶん講演会\*）を開催します。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ周知にご協力いただくとともに、当日は取材くださるようお願いいたします。

### 歴史文書館開館1周年記念講演会(第4回れきぶん講演会)

#### 古文書がもたらす未来への力～歴史は地域の人びとを前進させうるか～

- 1 日 時 7月6日（土）午後2時から3時30分まで
- 2 会 場 長岡市歴史文書館 講座室（長岡市長倉西町458番地7）
- 3 定 員 60人（先着・参加費無料）
- 4 講 師 <sup>しろうず さとし</sup>白水 智 氏（中央学院大学教授／地域史料保全有志の会代表）
- 5 内 容 奥能登での古文書調査や長野県北部地震での文化財レスキューなど、地域でのフィールドワークのお話から、地域とともに古文書を未来へ伝えていく意義を考えます。詳細は別紙チラシを参照ください。

#### ※ れきぶん講演会

最新の歴史研究や歴史文書館の活動の成果を紹介するため、定期的を開催する講演会。前回は令和5年11月に『史料のない中世』をどのように考えるのか』をテーマに開催。

問い合わせ：歴史文書館 広井  
TEL：0258-36-7832

歴史文書館開館1周年記念講演会  
(第4回 れきぶん講演会)

令和6年7月6日(土)  
14:00～15:30(開場13:30)

古文書とは、史料調査とは何か—  
奥能登や秋山郷での古文書調査のエピソードや栄村の  
文化財レスキューの取り組みから、地域とともに古文書を  
未来へ伝えていく意義を考えます

会場／長岡市歴史文書館 講座室  
定員／60人(参加費無料・先着)

講師／白水 智 氏  
(中央学院大学教授／地域史料保全有志の会代表)



1960年生まれ。中央大学大学院博士課程単位取得満期退学。現在、  
中央学院大学教授。専門は日本中世史、山村史、海村史。趣味は薪  
割り、焚き火、コーヒー、ギター、料理など。著書に『知られざる  
日本—山村の語る歴史世界』『古文書はいかに歴史を描くのか』  
(ともにNHKブックス)、『新・秋山記行』(編著・高志書院)、  
『中近世山村の生業と社会』(吉川弘文館)などがある。

申し込み・問い合わせ

6/11(火)～7/3(水)に長岡市歴史文書館へ  
TEL0258-36-7832

主催 長岡市歴史文書館  
〒940-0849 新潟県長岡市長倉西町458-7  
開館時間:午前9時から午後5時まで  
休館日:日曜日、月曜日、祝日、12/29～1/3



古文書がもたらす未来への力  
歴史は地域の人びとを前進させうるか